

県下20市に先がけ米飯を週3回に 白根市の学校給食



白根地区学校給食センターでは、約2,800人分の給食が作られます

20市はどのように

市名	一週間の給食		
	週回数	米飯	パン
新潟	5回	週1回	週2~3回
長岡	5回	週2回	週2回
上越	5回	週2回	週2回
三条	5回	週2回	週3回
新発田	5回	週1~2回	週2回
新津	5回	週2回	週2回
小千谷	5回	週1~5回	週2~4回
加茂	5回	週2回	週3回
十日町	5回	週2回	週2~3回
見附	5回	週2回	週2回
村上	5回	週2回	週2回
燕	5回	週2回	週3回
栃尾	5回	週2回	週2回
糸魚川	5回	週2回	週2回
新井	5回	週2回	週2回
五泉	5回	週2回	週3回
両津	5回	週1回	週3回
豊栄	5回	週2回	週2~3回
白根	5回	週3回	週1~2回

白根市の学校給食に、米飯が取り入れられたのは昭和四十六年。このときは、国の米飯給食指定実験校として、大郷・鷺巻地区三校(週三回)、庄瀬地区二校(週二回)ではじめました。これは、米の消費が減少している中で、当市は米どころでもあり、また、みなさんから「学校給食にも米飯を取り入れて」との要望が多かったことから、国に申請し、指定されたものです。市内の全校に、週一回の米飯

四十六年から 一部米飯を開始

数はこの間に、「週三回」と答えた人が四六%、次いで「週二回」三三%、五%となっていました。また、完全米飯(週五回)を望んだ人が三三%、六%もいたことは注目されます。いづれにしても、多くの子供やお母さんたちが、いまままでより米飯の回数を増やすことを望んでいるといえます。

献立は綿密な 計画のもとで作成

給食の開始されたのは五十一年。この間、子供たちからも好評だったこともあって、五十二年からは週二回、五十四年の九月からは週三回と週二回を交互に行っていました。また、今年の四月からは週三回、月・水・金曜日に行っています。火・木曜日は、パン・麺給食の日となっています。県下二十市の実施状況を見ても、米飯給食を週三回行っている市はなく、ほとんどが週二回となっています。

カレーシチューが大好き



大野宏輝くん (白根小・4年生)

みんなと一緒に食べられるから、給食は大好きです。勉強しているときよりも楽しんだ。パンはあまりおいしくないから、給食はご飯の方がいいです。それに、スープよりもおかしが使いやすいよ。おかしはカレーシチューと、ほうれん草が大好きです。

毎日ご飯でもいい



相田真理ちゃん (白根小・4年生)

パンはあまり好きじゃないです。それに麺も……。家でも、パンはあまり食べません。私はご飯が好きだから、給食は毎日ご飯でもいいと思っています。あつたかい飯かなおいしいです。みそ汁がある日は、とっても楽しみです。だってみそ汁が大好きなんだもの。

パンと麺を交互に



相馬勇一くん (白根小・5年生)

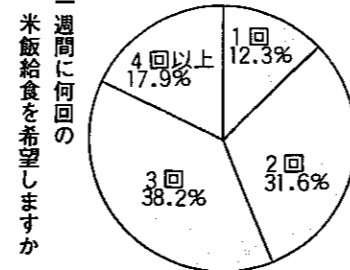
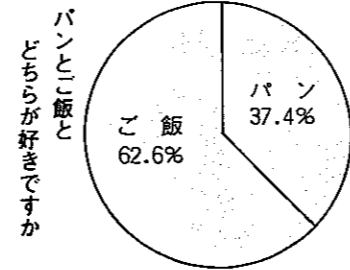
ご飯の給食はあまり好きじゃありません。だって家で毎日、朝と晩にご飯を食べているから、給食のときはパンがいいです。でも毎日パンだとあきてしまうから、パンと麺を交互にしてもらえたら最高なんだ……。二飯の給食の回数を、もう少し減らせないかな。

米飯・パン・麺それぞれに合ったものを



小林佳子さん (栄養士)

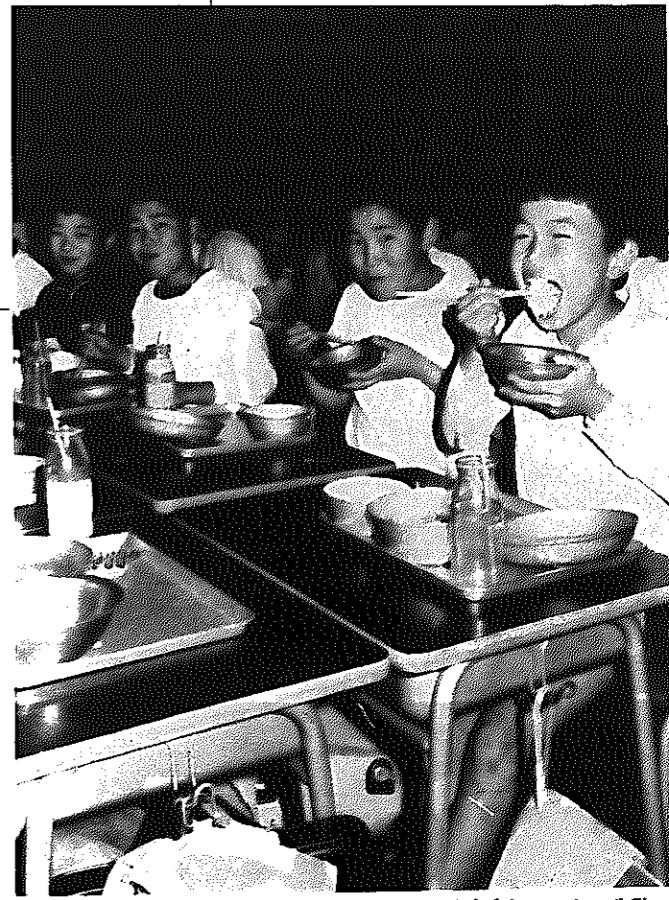
子供たちに好まれるものを、また、米飯、パン、麺それぞれに合ったものを献立して作っています。栄養面のバランスはもちろんですが、衛生面には特に気を配っています。残量が多いと、ちよつとがっかりしますが、他市町村に比べると少ないみたいです。



米は日本で自給できる唯一の穀物。米の消費は、昭和三十七年をピークに、以後、年々減少の一途をたどっています。米を食べると「ふとる」「高血圧になる」とかいわれていますが、最近では、我が国が世界でも有数の長寿国となったため、米を主食とした食生活が世界的に注目されています。欧米では、健康食や美容食として米食が取り入れられています。また、米は日本で自給できる

唯一の穀物です。この米の良さを見直してもらおうと、市では国や県の援助を得て、地域ぐるみの「米の消費拡大対策事業」を行っています。米飯給食の回数は一週間に何回の米飯給食を希望するかでは、「三回」が三八・二%で一番多く、三回と四回以上を合わせると全体の五六%を占めます。学年別で見ると、低学年ほど米飯給食の回数を多くすることを希望しています。また、小中学生を持つお母さんを対象に行ったアンケート調査では、望ましい米飯給食の回数

給食という、パンとミルクを思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。しかし、最近では全国的に米の消費拡大の一つとして学校給食にも米飯を取り入れられるようになってきました。白根市は、県下20市の中でも学校米飯給食の先進地です。46年から一部米飯給食をスタートさせ、一昨年9月からは週3回と週2回を交互に実施してきました。さらに、今年の4月からは、週3回実施しています。この米飯給食を、子供とお母さんを対象に行った、アンケート調査の結果などをもとに紹介してみます。



おいしそうにバクリ——この日の給食は、ご飯を主食にコーヒー牛乳、炒り鶏、野菜サラダ、ウィンナーエッグ(白根小学校で)

市学校給食のあゆみ

- 昭和30年度 ミルク給食開始
- 昭和35年度 この年から五年計画で完全給食化を推進
- 昭和41年度 完全給食(パン・ミルク、おかず)を実施
- 昭和46年度 一部米飯給食を開始(国の米飯給食指定実験校として、大郷小、鷺巻小、大鷲中が週三回、庄瀬小・中が週二回米飯に)
- 昭和50年度 指定実験校以外の全校に、二学期から月一回の米飯給食を実施
- 昭和51年度 全校に週一回の米飯給食を実施(ただし、従米の指定実験校は週三回)
- 昭和52年度 全校に週二回の米飯給食を実施
- 昭和54年度 二学期から全校に、週三回と週二回交互の米飯給食を実施
- 昭和56年度 週三回(月・水・金曜日)の米飯給食を実施

学校給食法から 第二条(目標)

- 日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養うこと
- 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと
- 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること
- 食糧の生産、配分および消費について正しい理解を導くこと